

■トイリアダプター

条件

① 台数

1系統あたりの台数は最大**20台**までです。(子機は40台までです。)

(1系統あたりの一斉放送を行う子機と天井スピーカーの設置台数算出について)

計算方法 一斉放送を行う子機台数 + (一斉放送を行う天井スピーカー台数 × 2) ≤ **40台** 以下

(例) 1系統あたり子機15台、天井スピーカー10台を設置する場合  
15台 + (天井スピーカー10台 × 2) = 35台 ≤ 40台

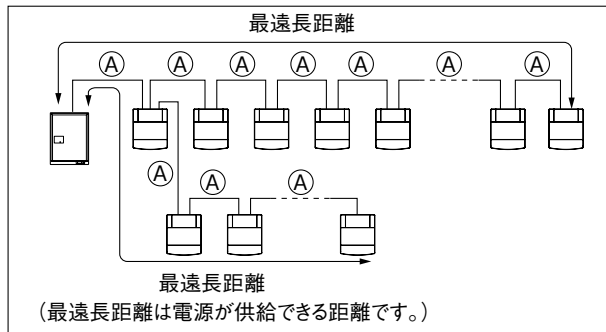
条件

② 通達距離

最遠長距離は最長**200m**まで

総配線距離は**1000m**まで

範囲	通達距離
総配線距離(A)合計	1系統あたり1000m
最遠長距離	200m

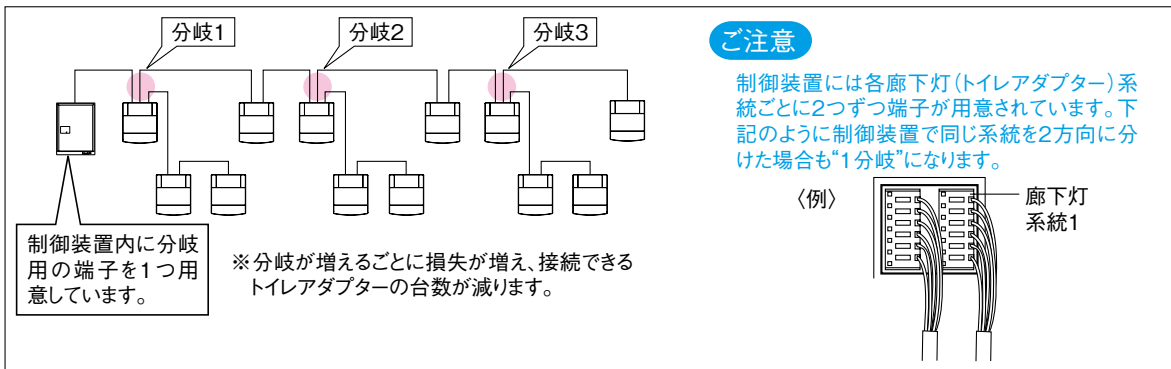


条件

③ 分岐数

1系統あたりの分岐数は3分岐以内としてください。

分岐箇所から末端トイリアダプターの間が4m以上の場合“1分岐”になります。



更に下記の計算式で出力損失を確認してください。

下記のように出力損失が37dBを超えないことを確認してください。

線路損失	トイリアダプター損失	分岐損失	<p><b>&lt;37dB</b> 出力損失</p>
$\text{最遠長距離} \times 0.065\text{dB}$ (200m以下) 1mあたり	$\text{台数} \times 1.0\text{dB}$ (20台以下) 1台あたり	$\text{分岐数} \times 4.0\text{dB}$ 1分岐あたり	

